

山形県感染症発生動向調査 週報

2025年 第39週

(2025年9月22日～2025年9月28日) 2025年10月1日 発行

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)

TEL.023-627-1109

<定点把握感染症>

定点種別	感染症	全国		山形県		山形市保健所		村山保健所		最上保健所		置賜保健所		庄内保健所		累積(県)					
		第38週	第39週	第38週	第39週	第38週	第39週	第38週	第39週	第38週	第39週	第38週	第39週	第38週	第39週						
感 急 染 性 呼 吸 器	内科・小児科 (定点医療機関数)			(39)		(7)		(10)		(4)		(6)		(12)							
	インフルエンザ	3073	2	9	▲	2	7	▲		1	Δ		1	Δ		6714					
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	26631	292	207	▼	35	25	▼	77	41	▼	49	38	▼	62	59	▼	5672			
	(定点医療機関数)	6.93	7.49	5.31		5.00	3.57		7.70	4.10		12.25	9.50		10.33	9.83		5.75	3.67		
小 児 科 定 点	RSウイルス感染症	3834	63	41	▼	14	11	▼	19	7	▼	1	1	Δ	19	13	▼	11	9	▼	1162
	咽頭結膜熱	651	3	3					1	1					2	2					440
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3399	17	34	Δ	8	13	Δ	5	5					3	14	Δ	1	2	Δ	2292
	感染性胃腸炎	9123	107	117	Δ	24	32	Δ	31	36	Δ	3	6	▲	18	19	Δ	31	24	▼	5488
	水痘	465	2	2		1	1		1	1											392
	手足口病	1068	7	3	▼	1		▼	5	3	▼							1		▼	355
	伝染性紅斑	2889	91	85	▼	13	10	▼	12	15	Δ	23	17	▼	19	18	▼	24	25	Δ	3643
	突発性発しん	671	11	5	▼	1		▼	3	2	▼	1	1		2		▼	4	2	▼	369
	ヘルパンギーナ	1631	55	45	▼	21	11	▼	19	23	Δ	5	5		5	1	▼	5	5		528
	流行性耳下腺炎	96																			38
		(定点医療機関数)																			
	眼 科 定 点	急性出血性結膜炎	5																		
流行性角結膜炎		755	9	4	▼				8	3	▼		1	Δ				1		▼	141
	(定点医療機関数)	1.08	1.13	0.50					2.67	1.00			1.00					0.50			
基 幹 定 点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5																			28
	クラミジア肺炎	4																			0
	マイコプラズマ肺炎	533	11	17	▲	2	11	Δ	3	1	▼	4	1	▼		1	Δ	2	3	▲	304
	細菌性髄膜炎	4																			2
	無菌性髄膜炎	25	1		▼													1		▼	7
	(定点医療機関数)	0.05	0.10															0.33			

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

<通信欄>

〇トピックスでは、「マイコプラズマ肺炎」について掲載しています。

警報・注意報の基準値(参考値)

感染症	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

令和7年第15週から、国の新しい基準が発出されるまでの間、警報・注意報の基準値については参考値として取り扱います。

- ・定点把握感染症の定点当たり報告数グラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
- ・ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。
- ・感染症のCSVデータは、衛生研究所HPからダウンロードできます。

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、Δ:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 年齢別報告数 >

種別点	感染症	年齢別																合計
		～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳			
急性呼吸器感染症定点	内科・小児科																9	
	インフルエンザ				1	1	1	3	1									
					1	1												
急性呼吸器感染症定点	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)																207	
		1	3	6	6	3		2	3	5	6	3	57	12	12			
		13	9	19	14	15	18											
小児科定点	RSウイルス感染症	3	2	27	7					1			1				41	
	咽頭結膜熱				1		1						1				3	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1	1	3	3	6	4	5	5	4	1		1		34	
	感染性胃腸炎	3	9	16	14	11	6	11	9	14	4	3	15	1	1		117	
	水痘						1			1							2	
	手足口病			2	1												3	
	伝染性紅斑			3	3	16	13	19	12	7	6	3	3				85	
	突発性発しん		2	2				1									5	
	ヘルパンギーナ		1	15	12	5	2	3	3	2	1		1				45	
	流行性耳下腺炎																0	

< 全数把握感染症 >

感染症	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核	1	1			2	
腸管出血性大腸菌感染症			1			型別:O157 VT2
レジオネラ症		1				
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症					1	90日以内の海外渡航歴:無し
急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ハネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)	1					
百日咳	3	2		6	4	第38週追加報告(2) ワクチン接種歴:4回(8)、1回(1)、無し(1)、不明(5)

< トピックス >

マイコプラズマ肺炎に注意

第39週におけるマイコプラズマ肺炎の県定点当たり報告数は1.70で2週連続増加がみられています。

図1 マイコプラズマ肺炎 山形県・全国定点当たり報告数の推移

< マイコプラズマ肺炎とは >
肺炎マイコプラズマという細菌による呼吸器感染症です。14歳以下に多いとされていますが、成人の報告もみられます。1年を通じてみられ、秋冬に増加する傾向があります。

< 症状 >
発熱や全身倦怠感(だるさ)、頭痛、咳(少し遅れて始まることもある)などの症状がみられます。咳は熱が下がった後も長期にわたって(3～4週間)続くのが特徴です。多くの人は気管支炎で済み、軽い症状が続きますが、一部の人は肺炎となったり重症化したりすることもあります。

< 感染経路・感染対策 >
飛沫感染や接触感染により感染すると言われています。家庭のほか、学校などの施設内でも感染の伝播がみられますが、短時間の暴露による感染拡大の可能性はそれほど高くなく、濃厚接触者による感染が多いと考えられています。感染してから発症するまでの潜伏期間は長く、2～3週間くらいとされています。

普段から流水と石けんによる手洗いをすることが大切です。また感染した場合は家族間でもタオルの共有は避けましょう。咳の症状がある場合にはマスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

【急性呼吸器感染症サーベイランス(症候群サーベイランス)】

< 定点把握感染症 >

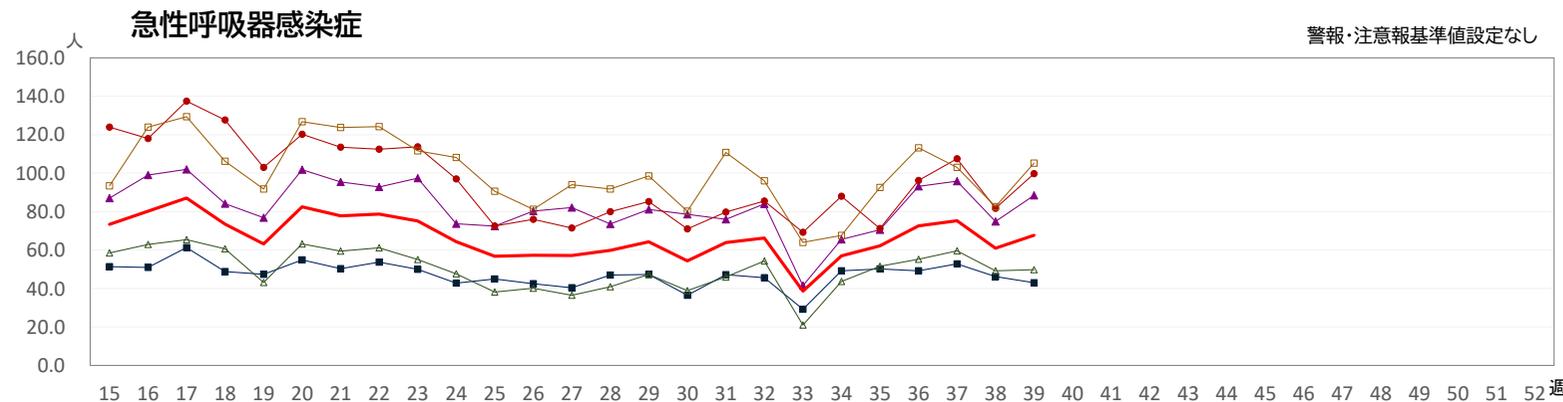
感 染 症	全国	山 形 県				山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県) 第15~39週
	第38週	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減		
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科 (定点医療機関数)		(38)				(7)			(10)			(4)			(5)			(12)			
急性呼吸器感染症	203282 53.05	2317 60.97	2572 67.68	△	524 74.86	619 88.43	△	462 46.20	430 43.00	▼	327 81.75	399 99.75	△	413 82.60	526 105.20	△	591 49.25	598 49.83	△	63104	

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
 ・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 年齢別報告数 >

感 染 症	山 形 県												
	第39週												
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳~	合計
急性呼吸器感染症	155	1058	708	282	55	38	41	54	35	54	52	40	2572

< 定点当たり報告数グラフ >



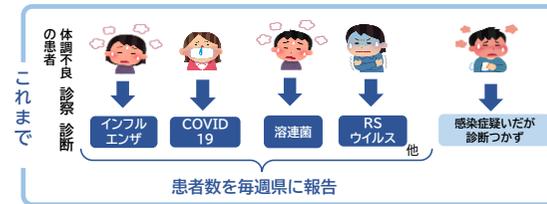
急性呼吸器感染症(ARI)
サーベイランスについて

平時より、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、国民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が4月7日から五類感染症に位置づけられ、サーベイランスが始まりました。

ARIサーベイランスは、症例定義※に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

※咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

ARIサーベイランスにおける対象感染症は、インフルエンザ、COVID-19、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に加え、新たに五類感染症に位置づけられた「(診断名のつかない)急性呼吸器感染症」となります。



詳しくは
厚生労働省HPへ▶▶▶

